

平成30年1月10日

## 第4回福島大学環境放射能研究所成果報告会を開催

福島大学環境放射能研究所は、平成25年7月に設立され、環境中へ放出された放射性物質の挙動や影響について研究しています。この度、第4回目となる成果報告会を下記のとおり開催いたします。

今回は、テーマを「原発事故7年後の福島の復興と科学的課題～これまでとこれから～」とし、基調講演、環境放射能研究所の発表、パネルディスカッションを通じて、福島県内のフィールドを中心に行った研究成果について、一般の方にわかりやすく、福島環境放射能の現状についてお伝えします。

基調講演では、ウクライナ環境・天然資源省立入禁止区域管理庁副長官であるナスビット氏をお迎えし、チェルノブイリ原発事故から32年の経験と今後の展望についてお話しいただきます。

### 記

日時：平成30年3月6日（火）9：30～17：30

場所：コラッセふくしま（福島市三河南町1番20号）

4階多目的ホール（口頭発表会場）

3階企画展示室（ポスター会場）

発表者：福島大学環境放射能研究所 所属教員

連携研究機関（ポスター発表）

基調講演：オレグ ナスビット氏

（ウクライナ環境・天然資源省立入禁止区域管理庁副長官）

パネルディスカッション：塚田祥文

トーマス ヒントン

アレクセイ コノプリョフ

鄭建氏（放射線医学総合研究所）

参加無料でどなたでも参加できます

（お問い合わせ先）

福島大学環境放射能研究所 事務室

電話：024-504-2114 FAX：024-503-2921

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

## 原発事故7年後の福島の復興と 科学的課題 ～これまでとこれから～

一般対象

参加費無料

同時通訳有(日/英)

要旨集配布有

ポスターセッション有

2018年3月6日(火) 9:30 - 17:30 (受付9:00)

会場: コラッセ 福島 4F多目的ホール、3F企画展示室

IER成果報告会 | 検索 | 事前申込みは特設ページから

水、森、海、大気、土壌、生物など  
多角的調査から福島の今を伝える

2011年から7年が経ちます。福島大学環境放射能研究所は、福島県内のフィールドを中心に環境中の放射性物質の挙動と影響について研究しています。一般の方にもわかりやすく、われわれの活動や研究によってわかったことについてお伝えします。

### 基調講演

「チェルノブイリ立入禁止区域

～原発事故からの回復に向けた32年の経験と展望について～

講演者 オレグ ナスピット氏 (ウクライナ環境・天然資源省立入禁止区域管理庁 副長官)



9:30 - 9:50 開会挨拶・所長挨拶

9:50 - 10:00 基調講演者紹介

10:00 - 10:45 基調講演

11:00 - 11:20 口頭発表  
地域の復興と課題

11:20 - 11:50 口頭発表  
生態系(生物・陸域・海域)への影響と課題①

13:00 - 14:20 ポスターセッション

14:20 - 15:20 口頭発表  
生態系(生物・陸域・海域)への影響と課題②

15:20 - 16:10 口頭発表  
環境放射能分析と環境修復への取り組み

16:25 - 17:25 パネルディスカッション  
～過去から何を学び、どう未来へ生かすのか～

17:25 - 17:30 閉会挨拶



会場 コラッセ 福島  
福島県 福島市 三河南町1-20



主催 福島大学環境放射能研究所 (IER)、福島大学

後援 福島県、筑波大学、広島大学、長崎大学、東京海洋大学、福島県立医科大学、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所(予定)

2018年3月6日(火) 9:30-17:30

会場 コラッセふくしま 4F多目的ホール、3F企画展示室  
福島県福島市三河南町 1-20

## 原発事故7年後の福島の復興と 科学的課題 ～これまでとこれから～

### プログラム

9:30 - 9:40	開会挨拶	福島大学長 中井勝己
9:40 - 9:50	所長挨拶	所長 難波謙二
9:50 - 10:00	講演者紹介	マーク ジェレズニヤク
10:00 - 10:45	●基調講演「チェルノブイリ立入禁止区域 ～原発事故からの回復に向けた32年の経験と展望について～」	オレグ ナスビット氏 (ウクライナ環境・天然 資源省立入禁止区域管理庁 副長官)
10:45 - 11:00	休憩	
●口頭発表：地域の復興と課題		
11:00 - 11:20	環境と人をつなぐ～継続する長崎大学の福島復興支援	高村昇 (長崎大学)
●口頭発表：生態系(生物・陸域・海域)への影響と課題①		
11:20 - 11:50	野生生物の研究から避難区域の"これから"を考える	トーマス ヒントン、ヴァシル ヨシェンコ
11:50 - 13:00	昼食休憩	
13:00 - 14:20	●ポスターセッション(3F企画展示室)	
●口頭発表：生態系(生物・陸域・海域)への影響と課題②		
14:20 - 15:20	阿武隈川の放射性セシウムについて福島市黒岩での6年間の観測結果から 言えること	難波謙二
	海洋環境における放射性セシウムおよびトリチウムの変遷と挙動ならびに 福島県の沿岸漁業の復興状況	青山道夫 和田敏裕
●口頭発表：環境放射能分析と環境修復への取り組み		
15:20 - 16:10	環境放射能の挙動解明に向けた取り組み～分析方法・技術開発の紹介～	塚田祥文、イスマイル ラハマン、 平尾茂一、高瀬つぎ子
	福島第一原発の廃炉措置における <sup>90</sup> Sr分析法の開発と未来を担う実践的 人材育成	高貝慶隆
16:10 - 16:25	休憩	
16:25 - 17:25	●パネルディスカッション テーマ：～過去から何を学び、どう未来へ生かすのか～	塚田祥文、鄭建(QST放射線医学総合研究所)、 トーマス ヒントン、アレクセイコノプリョフ
17:25 - 17:30	閉会挨拶	副所長 恩田裕一(筑波大学)

申込み ▶▶ 事前申込みは特設ページから

IER成果報告会 | 検索

福島大学環境放射能研究所

インターネット環境のない場合は、FAXにてお申し込みください。

ウェブ <http://www.ier.fukushima-u.ac.jp> / メール [ier@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:ier@adb.fukushima-u.ac.jp) 電話 024-504-2114 FAX 024-503-2921

### 【FAX申込用】第4回福島大学環境放射能研究所成果報告会

氏名	住所
所属先	連絡先 電話 FAX 携帯
メール	

次の報告会案内について 要 不要